

第4章

分野別の施策

4

都市基盤

産業

魅力あふれる
うらおいと活力のあるまち

基本施策 4-2 地域特性を生かした都市空間の形成

施策60

けやき並木と調和したまちづくりの推進

■めざす姿(施策の目的)

市民・事業者・市が協働し、本市のシンボルであるけやき並木を守り、将来の世代に伝えるための取組が進められるとともに、けやき並木の公共空間が広く民間事業者等に活用され、多様な人々が憩い、交流する空間として機能することで、魅力やにぎわいが生まれています。

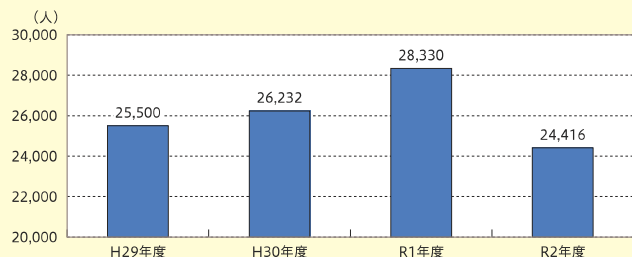
■現状と課題

けやき並木として国内唯一の国天然記念物である「馬場大門のケヤキ並木」は、本市のシンボルであることから、本市の中心市街地である府中駅周辺の更なるにぎわいの創出に向けて、けやき並木との調和及び活用によるまちづくりを推進することが必要です。このため、けやき並木の保護管理を市民との協働で進めるとともに、けやき並木の空間をいかした様々な事業の開催や、憩いの場としての活用を多様な主体が連携して行うなど、魅力やにぎわいの向上に取り組むことが求められています。

■施策の方向性

- モータリ化などの将来像を見据えながら、けやき並木の植生及び景観に配慮した周辺環境の整備や道路等の整備を進めます。
- けやき並木の保護に係る適切な維持管理を行うとともに、「馬場大門のケヤキ並木」の歴史的価値の周知や次世代後継樹の育成等を市民との協働により進めます。
- 都市再生推進法人である一般社団法人まちづくり府中を中心として、民間事業者等によるけやき並木やペDESTリアンデッキ等の魅力的な空間を活用したエリアマネジメント^{*23}を推進し、中心市街地のにぎわいの創出や商業の活性化を図ります。

けやき並木休日の歩行者量



■指標

指標名	基準値	目標値 (R7)	指標の説明
けやき並木に残す、古木・次世代木の本数	117本 (R2)	125本	けやき並木で維持管理する適正なケヤキの本数です。
休日のけやき並木の歩行者通行量	28,330人 (R1)	38,000人	休日のけやき並木通りの歩行者の1日当たりの人数です。

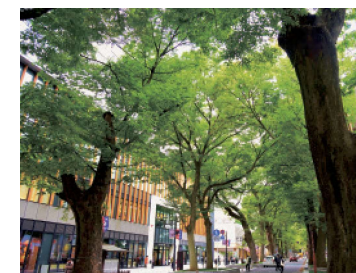
■主要な取組

取組名称	令和4年度から7年度までの取組内容
けやき並木周辺整備事業	けやき並木通り周辺の安全な歩行者空間を確保するため、既存道路の拡幅や新設道路の整備を行います。
馬場大門ケヤキ並木保護対策事業	樹木医による年2回の巡回監視のほか、総合的な保護対策を行います。
中心市街地活性化ビジョン推進事業	にぎわいの創出に向け、中心市街地活性化ビジョンに基づく各種取組を展開します。

■協働により推進したい取組

- けやき並木の保護管理や周辺環境の整備と、けやき並木やペDESTリアンデッキ等の魅力的な空間活用に関すること。

■SDGsとの関連



馬場大門のケヤキ並木